

医療スタッフが いきいき働く職場を目指しませんか？

～医療勤務環境改善マネジメントシステムを活用しましょう～

医療従事者の勤務環境が厳しい中、質の高い医療サービスを提供するためには、医療従事者が健康で安心して働くことができる環境整備が大変重要です。

医療機関の皆さまは、医療従事者が健康で安心して働くことができる職場環境づくりに努められていると思います。しかし、勤務環境の改善にあたって、「何をどのようにすればよいかわからない」といったお悩みの声もあります。

- 医療スタッフの離職者が多く、定着しない
- 医療スタッフの働き方や休み方の改善に迫られている
- 医療スタッフの健康のために何かしなければならない
- 医療スタッフの働きがい高めるために、どうすればいいのか

・・・など

いろいろなことに取り組まなければいけないと思っているけど、何を、どのようにすればいいのだろう・・・？



医療勤務環境改善マネジメントシステムを活用してみませんか？

医療スタッフがいきいき働く職場の実現で、3つのWinが期待できます！

Win

医療スタッフの満足度向上

勤務負担の軽減やワークライフバランスの推進が、医療スタッフのやりがいや満足につながり、医療の質の向上へ！



Win

経営の安定化

患者から選ばれる医療機関になることで、経営の安定化へ！

いきいき働く
職場の実現

医療の
質の向上

経営の
安定化

患者満足度
の向上

患者の満足度の向上

安全で質の高い医療の提供によって、患者の満足度の向上へ！



Win

医療勤務環境改善マネジメント
システムの概要は裏面へ

医療勤務環境改善マネジメントシステムとは？

- 医師、看護職、薬剤師、事務職員等の幅広い医療スタッフの協力の下、一連の過程を定めて継続的に行う自主的な勤務環境改善活動を促進することにより、快適な職場環境を形成し、医療スタッフの健康増進と安全確保を図るとともに、医療の質を高め、患者の安全と健康の確保に資することを目的としています。
- 各医療機関において、それぞれの実態に合った形で、自主的に行っていただく仕組みです。

医療従事者の勤務環境改善に関する改正医療法の規定が平成 26 年 10 月 1 日から施行され、厚生労働大臣が定める指針（医療勤務環境改善マネジメントシステムに関する指針）や「医療分野の「雇用の質」向上のための勤務環境改善マネジメントシステム導入の手引き」を参照して、各医療機関が勤務環境の改善に努めることとされています。

また、各都道府県の医療勤務環境改善支援センターが各医療機関の取り組みを支援することとされています。



医療勤務環境改善の領域と取組例

- 4 つの領域における幅広い取組例の中から、各医療機関が自組織の現状に応じて、優先順位をつけて計画的に取組を進めていきます。

働き方・休み方の改善

- (例)
- ① 時間外労働の削減
 - ② 休暇の取得促進
 - ③ 夜勤負担の軽減策
 - ④ 多様な勤務形態の活用、勤務シフトの工夫
 - ⑤ チーム医療、多職種連携・・・等

働きやすさ確保のための環境整備

- (例)
- ① 院内保育所や休憩スペースの設置
 - ② 短時間正社員制度の導入
 - ③ 子育て・介護中の職員に対する残業免除
 - ④ 男性職員の育児休業取得
 - ⑤ 職員の安全確保（暴言・暴力等への対策）・・・等

職員の健康支援

- (例)
- ① 医療スタッフの健康診断の受診率向上
 - ② メンタルヘルス対策
 - ③ 感染症対策
 - ④ 腰痛対策・・・等

働きがいの向上

- (例)
- ① 専門職としてのキャリア形成支援（研修への参加奨励等）
 - ② 法人内での人事ローテーション
 - ③ 産休・育休から復帰後のキャリア形成の支援・・・等

**医療勤務環境改善マネジメントシステムを活用して
医療スタッフがもっといきいきと働く職場を目指しましょう！！**

手引きや医療機関の勤務環境改善に向けた取組事例などの情報は、こちらで確認できます。